

＜今日の説教のポイント 使徒言行録9章1～19節＞

①なぜパウロだったのか？ 神の側の理由。

まず、なぜ神様はパウロを選ばれたのかを聖書から考えましょう。この箇所からは、1) イエス様を苦しめていたから(4-5)、2) 異邦人や王に神様のことを宣べ伝える器とするため(15)、が挙げられます。またパウロ自身が、「神様の御旨を理解せずにキリスト者を迫害していた自分にその間違いを気づかせ、キリストの福音を異邦人に伝える器として下さる恵みを与えて下さった」、と語っています(ガラテヤ 1:13-16)。

②なぜパウロだったのか？ 人間の側の理由。

次に、この人パウロが選ばれた人間的理由はあるのでしょうか？ 聖書の中では、パウロは自分のことを、「ユダヤ教徒として誰よりも信仰熱心だった」、と何度か語っています(ガラテヤ 1:14)。しかし、これは神様の御旨を誤解することに導いた熱心さですから、選ばれる優れていた点とは言えません。だからこそ、過ちを犯した自分を神様が用いて下さったことを、パウロは聖書の中で感謝しています。伝道に伴う苦しみは彼にとっては苦しみではなかったのです(使徒 9:16)。

③私たちはこの神様に選んでもらえるの？ そう、皆招かれている！

神様がパウロに伝えさせようとした福音は、神様の御旨を全く勘違いし、神様に滅ぼされても仕方のないパウロを赦し、さらに用いて下さるという驚くべき恵みに満ちた福音でした。神様はその内容を、イエス・キリストによって、ユダヤ人だけでなく全ての人にも伝えようとしたのでした。パウロはそのことを深く理解させられたのです。「パウロはステファノ殺しを後悔し、後ろめたく思っていたのだ」といった、パウロの内面に信仰心が生まれた理由を見ようとする人がいますが、パウロが後ろめたく思っていた姿は聖書からは全く読み取れません。むしろ、神様が彼を選ばれたとしか言いようのない出来事が起こったことを聖書は示しています。それでいいのです、大事なのは、神様は全ての者の愛と赦しの神であり、「そのことを受け入れて私と共に歩みなさい」、と私たちに呼びかけて下さっているということです。あとは、私たちがその招きにお応えして、方向転換(回心、受洗)するだけです！